

IT 最新技術動向（1日版：事前課題付き）

- [概要] IT に関する主要な最新技術・キーワードをコンパクトに理解するためのコースです。最新技術・キーワードの定義・必要性・分類・活用のメリット・デメリットを理解することができます。
また、IT 業界では、常に新しい技術・キーワードが生み出されるため、今後、出現する技術・キーワードにご自身で対応できるように、最新技術・キーワードをご自分で調べ、理解する事前課題を行っていただき、研修の中で発表していただきます。
- [学習目標] ・IT に関する主要な最新技術・キーワードを理解する
・最新技術・キーワードを自分で調べ理解することができる
- [受講対象者] ・IT 企業の SE・営業の方
・IT 部門の方
- [前提条件] 特になし
- [日数] 1 日間
- [形式] 講義＋演習（講義中心、60:40）
- [時間] 9：30～17：00
- [研修に必要なもの]
講師用：プロジェクター、ホワイトボード、
受講者用：PC（Powerpoint の入っているもの） 1 台／名

[タイムスケジュール]

日程	内容
第1日目 AM	<p>1. IT 最新技術・キーワードを3つの側面にとらえる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの側面 ・システム環境面 ・システム開発面 ・データ活用面 <p>2. システム環境に関する最新技術・キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウドコンピューティングの定義 ・クラウドコンピューティングの必要性 コンピュータコストの増加、 サイジングの難しいサービスの増加 BCPを重視 ・クラウドコンピューティングの分類 コンピュータ環境の専有状態による分類 利用階層による分類 ・クラウドコンピューティングを支える技術 仮想化技術 ・クラウドコンピューティングのメリット・デメリット (確認クイズ) <p>3. システム開発に関する最新技術・キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクラッチ開発の問題点 ・スクラッチ開発の問題点を解消する開発方法 パッケージ、アジャイル、超高速開発ツール ・パッケージ 定義 必要性 日本におけるパッケージの変遷 分類 業務パッケージの活用方法 メリット・デメリット

日程	内容
PM	<p>(演習) 自分で調べてみよう (発表)</p> <p>アジャイル 超高速開発ツール</p> <p>(確認クイズ)</p> <p>4. データ活用に関する最新技術・キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> • ビッグデータ <ul style="list-style-type: none"> 定義 ビッグデータ活用の必要性 活用例 <ul style="list-style-type: none"> デジタルデータを活用した新サービスの創造 統計解析して消費者行動の把握や新たな知見の取得 活用するデータの分類 <ul style="list-style-type: none"> 社内データと社外データ 構造化データと非構造化データ ビッグデータを支える技術 Hadoop Fluentd クラウド・サービス メリット・デメリット • スマートデバイス <ul style="list-style-type: none"> 定義 スマートデバイス活用の必要性 分類 活用例 <ul style="list-style-type: none"> 現場の仕事を変える 新しいサービスの提供 o2o マーケティングに活用する メリット・デメリット • IoT <ul style="list-style-type: none"> 定義 必要性 背景 活用例 <ul style="list-style-type: none"> 生活を変える 製造業を変える 農業を変える メリット・デメリット <p>(確認クイズ)</p>